

かみすげたささのおか

令和6年1月31日
上菅田笹の丘小学校
学校だより 2月号



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



待ちに待った新校舎

2年4組担任(副校長) 坂井 敦

暦の上ではまもなく立春を迎え、春が待ち遠しいころとなりました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、待ちに待った新校舎での生活が始まって1か月が過ぎようとしています。きれいな教室や廊下、広い体育館、富士山や、みなとみらいや、スカイツリーなどの眺め、旧校舎では味わうことができなかったことを毎日、新しい発見とともに感じています。

先日、区長や地域の方を招いて新校舎の落成式を行いました。そこで、これまでの歩みを聞き、ああそうだったと思い出しました。

平成28年に上菅田小と笹山小の統合話が持ち上がりました。当時、私は笹山小の教務主任でした。笹山小の保護者の多くは、統合反対の立場でした。検討委員会が立ち上がり、学区の再編なども検討されましたが、小規模校の解消はされず、平成29年に統合が決定されました。それと同時に旧上菅田小学校の校舎の建替えも決定されました。

それから統合反対の気持ちは、180度回転し、副校長となった平成30年から、当時横浜で一番小さかった笹山小に約1000人の子どもたちを受け入れる準備が始まりました。まずは、本校舎の改修工事です。空き教室や2教室を打ち抜いていた部屋などを再び教室に改修し、エアコンも追加設置しました。給食室も100食程度しか作っていなかったのが、1000食を作れるように大型の鍋の交換などもしました。校舎内や外壁の塗装直しや、テラスのシート敷き等も行い、少しでも統合してよかったと子どもたちに思ってもらえるようにしました。平成31年には、プレハブの建築も始まり、受入れ準備は、着々と進んでいきました。また、横浜市初の通学支援バスの準備や通学路の確認、パトロール隊の大募集も行ってきました。

いよいよ開校となった平成32年は、コロナ禍の真ただ中でした。1日だけの登校と、入学式のあとは、休校となりました。年号が令和となり、分散登校という形から再開されました。不便な学校生活を余儀なくされましたが、子どもたちは柔軟で、狭い校舎でもコロナに気を付け、学校生活を楽しんでいました。

しかし、3年間限定生活のはずが、工事遅延により移転が9か月延び、もうひと夏、猛暑を乗り越えなければならなくなりました。それも記録的な猛暑だったので、ダメージは大きかったと思います。

そして、自然豊かで、慣れ親しんだ旧笹山小の校舎に別れを告げ、ようやく新校舎での生活を始めることができました。あっという間の8年間で、大変なことも多かったですが、新校舎に元気に登校してくる子どもたちを見ると、苦労した甲斐があったなと思います。

今、副校長としては、設備の初期不良、各所不具合の対応をしています。また、担任としては、他の教員と同じように新しい教室で、子どもたちと楽しく過ごしています。

2月17日(土)には、統合してから初の土曜参観があります。ご多用のことと思いますが、是非、新校舎に足を運んでください。

今後も本校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

